

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
トリニティカレッジ 広島医療福祉専門学 校		平成9年3月26日	中川 潔		〒730-0014 広島市中区上幟町8番18号 (電話)082-223-1164	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人木村学園		平成9年3月26日	理事長 木村 創		〒730-0014 広島市中区上幟町8番18号 (電話)082-223-1164	
目 的	保育、社会福祉に関する専門知識を理解し、保育士・幼稚園教諭として子ども、障害者(児)と関わる うえにおいて必要不可欠な技術を習得することを目的とする。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
教育・社 会福祉	専門	保育社会福祉学科	3年(昼)	2,895単位時間 (又は単位)	平成21年2月27日 文部科学大臣 告示第22号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		795単位時間 (又は単位)	1605単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	450単位時間 (又は単位)	45単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人		106人		4人	20人	24人
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表(有)無 ■成績評価の基準・方法について ・学科試験、実習評価、学習態度 の評価を100点を満点とし、 各科目60点以上を及第とする	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月3日 ■夏 季： 1年次8月 5日～8月28日 2年次7月23日～8月21日 3年次8月10日～8月21日 ■冬 季： 1年次12月23日～翌1月9日 2年次12月23日～翌1月9日 3年次12月23日～翌1月9日 ■学 年 末： 1年次3月15日～3月31日 2年次2月25日～3月31日 3年次3月15日～3月31日			卒業・進級条件	・学年を通じて学業成績によって 総合的に判定する。 ・単位不認定の科目があれば進級・卒 業はできない。	

生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 ・学生への電話連絡、面談 ・欠課時数1/5越えて保護者へ警告文通知本人、保護者との話し合い ・担任制による学生指導と生活相談	課外活動	■課外活動の種類 ・ボランティア活動 ・広島市立幼稚園大運動会支援 ・地域清掃活動 ■サークル活動 (有)・無)
主な就職先	■主な就職先、業界等 保育園・幼稚園・障害者・高齢者施設 ■就職率^{※1} 100 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 100 %	主な資格・検定	・保育士資格 ・幼稚園教諭二種免許 ・社会福祉主事 ・介護福祉士実務者研修 ・短期大学士 ・日本語ワープロ検定試験 ・情報処理技能検定試験
中途退学の現状	■中途退学者 4 名 ■中退率 3.8 % 平成27年4月 1日在学者104名 (平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者100名 (平成28年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、学力不振、学費支弁困難等の経済的な問題、心身体調不良 ■中退防止のための取組 ・担任による個人面談、生徒指導 ・各教科欠席時間数が1/5に達した時点で保護者に警告文を通知し、電話連絡を取り、保護者との連携を図りながら学生指導にあたる。		
ホームページ	URL: http://hiroshima.trinity.ac.jp		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育・福祉に従事する者として社会が求める人材を養成するため、幼稚園・保育園を代表する教育課程編成委員の意見を参考に授業科目の開設や変更を行う。

また、保育・教育施設連絡協議会等の意見交換及び普段の実習時の巡回を通して、実習施設・実習園等との密接な連携を取り、最新の知識・技術・技能を取り入れた教育課程の編成・改善・工夫を定期的に行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年10月1日現在

名 前	所 属
米川 晃	一般社団法人広島市私立幼稚園協会 理事長
丸亀 恵子	廿日市いちご保育園佐方 園長
中川 潔	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 学校長
竹越 徹	産学連携企画室 室長 (事務部長)
宮崎 洋一	教務部 部長
樋野本 順子	保育社会福祉学科 学科長

(開催日時)

第1回 平成27年10月22日 (木) 18:30~20:00

第2回 平成28年 2月23日 (火) 18:30~20:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

教育、福祉の現場における保育士、幼稚園教諭、福祉の職務と責任を理解し、乳幼児、児童に対しての保育、保護者への対応、障がい者・高齢者への対応について実践を通して学べるよう、また職員が協働して役割を果たしていることが理解できるよう施設、企業と連携を取りながら、実習、演習を行うことを基本方針とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
保育実習 (保育所)	保育所の機能と役割を理解する。職員構成や処遇の日課、月間・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する	社会福祉法人 立正たちばな会 川西・リボン保育園 社会福祉法人伸陽会 由宇保育園 岩国市立かわしも保育園 周南市立周央保育園 社会福祉法人 文殊会 ルンビニ 保育園 他 30 施設
保育実習 (施設)	施設の機能と役割を理解する。職員構成や処遇の日課、月間・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する	広島県立障害者リハビリテーションセンター 若草園 広島県立障害者リハビリテーションセンター 若草療育園 社会福祉法人 広島県同胞援護財団 子供の家三美園 似島学園高等養護部 社会福祉法人 順源会 自然の村 他 11 施設
保育実習Ⅱ	保育所の機能と役割を理解する。職員構成や処遇の日課、月間・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように	社会福祉邦人愛児福祉会 口田なかよし保育園 社会福祉法人光生会 くまの中央

	連携をとっているのか理解する	保育園 西志和中央保育園 あい保育園西条中央 社会福祉法人FIG 福祉会 ピッコロゴード保育園 他19施設
相談援助実習	相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得するとともに、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理等を習得する。	特別養護老人ホーム 陽光の家 軽費老人ホーム ケアハウス安芸中野 障害者支援施設 光清学園成人部 障害者支援施設 西の池学園 障害者支援施設 あげぼの他10施設
介護職員初任者研修	老い、病、障害などによって介護を必要とする人々の尊厳と主体性を尊重し、生活を支援するための知識、技術を講義・演習・実習を通して介護・福祉の基本を学ぶ。	特別養護老人ホームへさか福寿苑 特別養護老人ホーム緑ヶ丘静養園 特別養護老人ホーム慈光園 特別養護老人ホームハートフル竹原中央 グループホームあいあいホームながさき 他9施設
教育実習	幼稚園の機能と役割を理解する。職員構成や処遇の日課、月間・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する	広島信望愛学園 聖母幼稚園 学校法人IGL学園 サムエル薬師が丘幼稚園 学校法人博美学園 ひろみ幼稚園 安芸幼稚園 学校法人善教寺 比治山幼稚園 学校法人法輪学園 ほうりん沼田幼稚園 同 ほうりん安幼稚園 他25施設
教育実習Ⅱ	幼稚園の機能と役割を理解する。職員構成や処遇の日課、月間・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する。	杉並台幼稚園 世羅めぐみ幼稚園 広島マリア幼稚園 学校法人石山学園 淳教幼稚園 学校法人府中石田学院 認定こども園つばめ つばめ幼稚園 他25施設

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

高等職業教育機関の一翼を担っている専門学校の教育内容が高度化・複雑化している今日、教職員の資質向上を図ることは喫緊の課題である。そのため、本校においては、業界や企業が求める実務知識や効果的な指導方法を習得し教育内容や指導方法に反映することを目的として、関係専門職員、専門技術者を養成している諸施設・団体等において実施される一定の水準・実績を持つ研修・研究施設で研修させる。

年度初めに、学科ごとに自己申告書を踏まえた教職員の研修計画を提出させ、校長・事務部長・教務部長・学科長・学生課長からなる運営会議において協議・決定し、実施する。研修終了後、研修報告書を提出し、研修成果を報告させるとともに学科内において情報共有を図り、次年度以降の授業等の改善に資する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年2月1日現在

名 前	所 属
安西 和夫	学校法人進徳学園 私立進徳女子高等学校 校長
岡本 和也	卒業生代表 (本校同窓会 会長)
梶原 穰治	学校法人虹山学園 理事長
後藤 忠啓	社会福祉法人慈楽福祉会 理事長
田中亜左美	保護者代表
土谷 治子	特定医療法人あかね会 土谷総合病院 院長

(学校関係者評価結果の公表方法) 学校ホームページ (以下URL)

URL : <http://hiroshima.trinity.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法) 学校ホームページ、学校案内、高等学校向け説明会等

URL: <http://hiroshima.trinity.ac.jp>

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育社会福祉学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			日本国憲法	国家のグランド・デザイン（基本設計書）である憲法を通じて、人権と国家の在り方について学ぶ	1後	30	1	○		
○			生涯スポーツ	さまざまなスポーツの実践を通して、より豊かな生活の設計に必要な技能や知識を修得することを目的とする。	1前	45	1			○
○			健康科学	生涯を通じた健康づくりを実践するための基礎となる技能や知識を習得することを学ぶ	1前	15	1	○		
○			情報処理Ⅰ	パーソナルコンピュータの操作になれ、日常的に多く使用されているワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの操作を習得する。	1通	60	2		○	
○			英会話	保育現場で必要とされる英語を話すことが出来るようになる。英語によるコミュニケーションの基本的なスキルを見つける。	1通	60	2		○	
○			音楽（器楽・声楽）①	保育者として必要なピアノ技術の応用力及びピアノ弾き歌い技術を習得する。呼吸法、発声法の歌唱基礎を学び、内面的完成、歌唱力、表現力の向上を目指す。	1後	30	1		○	
○			音楽（器楽・声楽）②	幼児教育現場で必要とされる音楽実践力の基礎的技術の向上を図ると共に、子供の状況に対応しうる応対用の技術の修得	2前	30	1		○	
○			図画工作	幼児の造形活動に必要な絵画・デザイン・立体造形・色彩・構成に関する基礎知識と表現技法の習得を行う。	2前	30	1		○	
○			図画工作Ⅱ	幼児の造形活動の基礎的・基本的な技法や知識とともに、それらを用いて幼児の援助ができるようになるための保育者の専門性の基礎を習得する。	1後	30	1		○	

○		幼児体育	幼児の身体運動に関する基本的な、知識を理解し、保育実践の場での運動遊びに関して必要な知識や技能を修得	2 後	30	1		○	
○		幼児体育Ⅱ	「幼児と身体運動」に関する知識を高め、保育実践の場における幼児の体育に関する教材研究をおこない、必要な技術や指導方法を学ぶ。	2 後	30	1		○	
○		言語表現	乳幼児の発達に即した言語表現に関する知識、絵本、紙芝居、人形劇、ストーリーテリングの技術を学ぶ。	2 前	30	1		○	
○		教育原理	教育の本質や意義について学ぶとともに、これからの社会を生きていく子ども達に必要な教育とはどうあるべきかを考える。	1 後	30	1		○	
○		教育心理学	保育実践に必要な心理学的知見を理解することによって、子供を見る目・保育を見る目を育てていく。	1 前	30	1		○	
○		健康（指導法）	幼児の発達における「健康」の意義や保育者のかかわり、環境構成についての理解について学ぶ。	1 前	30	1		○	
○		健康Ⅱ	「健康」で学習したことを踏まえ、現代社会の中で、幼児が心身ともに、健康な生活を営むために必要な知識と指導、援助方法について学ぶ。	3 前	30	1		○	
○		人間関係（指導法）	保育所保育指針、幼稚園教育要領における領域「人間関係」のねらいや保育内容の活動の展開、援助の方法を学ぶ。	3 前	30	1		○	
○		環境（指導法）	幼稚園教育要領の領域「環境」のねらいと内容を理解し、乳幼児の発達に必要な環境についての知識を深め、指導方法を考える。	1 後	30	1		○	
○		言葉（指導法）	幼稚園教育要領、保育所保育指針の領域「言葉」について学習し、子どもの言葉を育む適切な環境づくりや保育者の関わり方を身につける。	1 前	30	1		○	
○		言葉Ⅱ	「ことば」の発達における、集団生活の意義、保育のかかわり、環境構成についての理解を図ることを目的とする。	3 前	30	1		○	
○		造形表現（指導法）	幼稚園教育要領の領域「表現」のねらいと内容を理解し、幼児の造形表現についての知識を深め、適切な指導法を修得する。	1 通	60	2		○	

○		音楽表現(指導法)	乳児・幼児の年齢に合った手遊びやリズム遊び、音楽遊びを実践しながら、感性を豊かにし、様々な表現を楽しみ、考え、指導者としての技術を身につける	1前	30	1		○	
○		劇遊び(指導法)	幼児が劇遊びをおこなうための方法を実践を交えながら知識を学び、技術を身に付ける。	1後	30	1		○	
○		子どもの保健Ⅰ①	小児の概念を、小児期の心身の成長・発達および小児を取り巻く社会の動きから把握し、各年齢の特徴、疾病の特徴について学ぶ。	1後	30	1		○	
○		子どもの保健Ⅰ②	小児期の疾患・事故について学び、その予防についての知識を習得し、小児の疾病予防のための生活・環境条件について理解する。	2前	30	1		○	
○		子どもの保健Ⅱ	子どもの保健Ⅰ①・②で習得した知識を基礎として、その知識を保育の場で実践できるように技術を習得する。	3前	45	1		○	
○		子どもの食と栄養	栄養学の基礎知識、胎児期・乳児期・幼児期の各ライフステージ別に食生活の特徴、問題点などを学ぶことにより、子どもを見守る保育者が食事・食育の重要性を理解	2前	30	1		○	
○		保育原理	保育の思想・制度について学び、今日的保育上の問題について掘り下げ、保育の本質を探究する。	2前	30	1		○	
○		社会的養護	児童養護における家庭養護と社会的養護の関係と役割を理解しながら、養護問題の現状と児童福祉施設の実際について理解を深める。	1前	30	1		○	
○		社会的養護内容	要養護児童・被虐待児童・情緒的問題を抱える児童について、その適切なかかわりのためにグループ討議や模擬体験により、子どもが抱える問題の背景とその対応方法について学ぶ。	2後	30	1		○	
○		乳児保育	児童福祉施設における3歳未満児の保育について、成長発達と発達課題、保育内容、保育実践の方法を学習し、子どものあるがままの姿をとらえ保育する力を養う。	3前	30	1		○	
○		発達心理学	乳幼児期のみならず、それ以降の各発達段階の特徴や課題について学習する。	3前	30	1		○	
○		乳幼児心理学	乳幼児期の時期の子どもがみせる発達の特性について学び、生きて生活している子どもに寄り添い、発達を援助するにはどうすればよいか、援助の方法についても学ぶ。	2後	30	1		○	

○		保育実習事前事後指導 I (保育所)	保育所実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作ると共に、実習日誌、指導案の書き方を学ぶ。	2前	30	1		○	
○		保育実習事前事後指導 I (施設)	各施設の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作ると共に、実習日誌、指導案の書き方を学ぶ。	3前	30	1		○	
○		保育実習事前事後指導 II	保育実習 I における学習や自己課題を踏まえ、模擬授業を行い実践力を高めていく。保育士の専門性と職業倫理について学ぶ。	3前	30	1		○	
○		教育課程総論	幼児教育における教育課程の意義と役割を明らかにし教育課程編成の留意事項等、幼児の充実した園生活をつくりだすための教育課程のあり方を学ぶ。	1前	30	1		○	
○		教育方法論	発達に適した日々の保育を積み重ねていくための教育方法について必要な知識と技術を身につける。	1後	30	1		○	
○		教職概論	教師の仕事や役割・やりがいについて学び、現在の社会状況に対応できるよう教師としての資質を高める。	1前	30	1		○	
○		教育相談	子どもの世界や保育士の役割についての理解を深めることを通して、子どもや家族への支援スキルの基礎を学ぶ	2前	30	1		○	
○		保育・教職実践演習	保育に関する科目横断的な学習能力を習得し、保育に関する現代的課題についての現状分析、考察、検討を行う。	2通	60	2		○	○
○		教育実習事前事後指導 I	実習の心構えや準備、実習に臨む基本姿勢、日誌・指導案の書き方等を学び、教育実習に対する意欲や課題意識を高める。	1後	30	1		○	
○		教育実習事前事後指導 II	目的をもって実習に臨み、様々な経験を通して、実習が学び多きものとなるように、実習内容について段階を追って学び、幼稚園教諭への新たな自覚を得ることができるようにする。	2後	30	1		○	
○		障がい児保育	多様化する保育ニーズに対応することのできる保育者を目指して、障がい児保育における理念および障害知識と具体的支援方法などについて、理解と認識を深める。	2通	60	2		○	
○		保育実習 (保育所)	保育所 (園) の機能と役割を理解する。職員の構成や処遇の日課、月刊・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する。	2前	90	2			○

○		保育実習 (施設)	保育所(園)の機能と役割を理解する。職員の構成や処遇の日課、月刊・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する。	3 前	90	2				○
○		保育実習Ⅱ (保育所)	保育所(園)の機能と役割を理解する。職員の構成や処遇の日課、月刊・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する。	3 前	90	2				○
○		教育実習	幼稚園の機能と役割を理解する。職員の構成や処遇の日課、月刊・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する。	2 後	90	2				○
○		教育実習Ⅱ (幼稚園)	幼稚園の機能と役割を理解する。職員の構成や処遇の日課、月刊・年間の行事計画を通して理解する。地域や保護者、専門機関とどのように連携をとっているのか理解する。	3 前	90	2				○
○		保育内容総論	領域別の教科の学びと共に、それらを総合的に捉える視点を養い、保育の全体構造の理解に基づいて、子どもの理解や保育方法について学ぶ。	1 前	30	1				○
○		保育相談支援	保護者支援の意義や基本を理解した上で、保護者支援の方法や技術を学ぶ。	2 後	30	1				○
○		社会福祉	現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解、現代社会における福祉問題と福祉に求められることについて学ぶ。	1 前	300	1				○
○		児童家庭福祉	児童や家庭を取り巻く状況を理解し、家族援助に関わる制度とサービスを学び、支援方法について学習する。	2 前	30	1				○
○		家庭支援論	これからの家族のあり方、役割を考え、子育てを通し親や地域社会への援助の必要性とその方法を理解する。	2 後	30	1				○
○		相談援助	相談援助技術の意義、構造と機能について理解すると共に、相談援助の過程とそれにかかわる知識と必要な技術を身につける。	2 後	30	1				○
○		音楽(基礎)	幼児教育者として必要な音楽知識を身につけ、保育の現場で必要となるピアノの演技能力や即興能力を培うことを目指す。	1 前	30	1				○

○		音楽（応用）	幼児教育現場で実践的に対応しうる音楽技術の完成を目指す。	2後	30	1		○	
○		音楽（実践）	幼児教育現場で実践的に対応しうる音楽技術の習熟を目指す。	3前	30	1		○	
○		国語	幼児教育に携わる社会人として必要な表現力の基礎、基本を講義と演習によって学び、言葉の機能を十分に働かせるための知識、技能、方法を身につける。	1後	30	1		○	
○		障がいの理解	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を理解し、本人や家族も含めた周囲の環境への配慮や地域におけるサポート体制について学習する。	2後	30	1		○	
○		歌唱	呼吸法、発声法の歌唱基礎を学び、幼児の音楽活動に対して適切な指導や援助ができるよう内面的感性、歌唱力、表現力の向上を目指す。	1後	30	1		○	
○		保育特論	保育者として専門知識、技術を高めるだけでなく、社会人としての身だしなみ、礼儀、気配り、気遣いを様々な体験を通して高める。	3通	60	3		○	
○		介護職員初任者研修	老い、病、障害などによって介護を必要とする人々の尊厳と主体性を尊重し、生活を支援するための知識、技術を講義・演習・実習を通して介護・福祉の基本を学ぶ。	1後	130	4	○	△	△
○		介護実務者研修Ⅰ	老い、病、障害などによって介護を必要とする人々の尊厳と主体性を尊重し、生活を支援するための知識、技術を講義・演習を通して介護・福祉の知識・技術を学ぶ。	2後	185	6	○	○	
○		介護実務者研修Ⅱ	老い、病、障害などによって介護を必要とする人々の尊厳と主体性を尊重し、生活を支援するための知識、技術を講義・演習・医療を通して介護・福祉の知識・技術を学ぶ。	3通	135	4	○	○	
○		就職実務	社会人としての自覚、コミュニケーション能力の向上、就職に対する心得についての理解を図り、就職活動が円滑に進められるようにする。	3通	60	2		○	
合計				66科目		2895単位時間（90単位）			